



第7回 体育祭 ～若さ、はじける～



応援合戦で1位となった青組

6月10日(火)に第7回体育祭が梅雨の間の好天のもと実施されました。本来であるなら、前週の6月6日の実施であったのですが、雨天延期での実施となりました。

年次単位の競技あり、全生徒が緑・白・青・赤の4色に分かれて参加する競技ありで大いに盛り上がった一日でした。

綱取り(女)・綱引き(男女)・騎馬戦(男女)は普段は眠っている闘争心が前面に出ており身体も心も力を振り絞っているのが伝わって来ました。

学級対抗や色別リレーでは、自分のクラスや色の代表としての責任と誇りをしっかり引き受けて、大きな声援に後押しされたように、それこそありったけの力を使い切ろうとするような激走が見られました。

昼休みの後に色別の応援合戦が行われました。各色で3年次が中心となって、下級生を含め約100人の生徒が、工夫を凝らしたダンスを踊ります。オリジナリティに富んだ振り付けで5分間の内容にまとめてあります。各色の特色を活かしながら、知恵を絞って作り上げてきたことがよく分かりました。

それぞれの色に順位を付けざるを得なかったのですが、私から見て大きな差はなかったと思います。それよりも、最後の演技にかける真剣な顔つきと、練習の成果を精一杯表現しようとするひたむきさに胸を打たれる気がしました。

単位制の本校にとって、集団で取り組む学校行事は、横のつながりを強く意識させる貴重な機会です。そして、協力することで一人では成し得ない、達成と感動をつかむことができることを学ぶ素晴らしい機会であることを再認識した一日でした。

電卓競技大会で全国大会に出場！

6月1日(日)に全国高等学校電卓競技大会予選会が開催されました。結果は3人の合計得点で競う電卓競技の団体総合で2位となり全国大会への出場となりました。多くの時間を練習に割けなかったのですが、講師の林先生が熱心に指導して下さり見事な成果を収めることができました。

実は本校はこの4年間で3回の全国出場を果たしています。ビジネス基礎の授業の指導の延長上で講師の先生に鍛えていただいています。「授業の先に全国がある。」素晴らしいと思いませんか？

このことは泉区のタウンニュース 6月12日号に掲載されました。タウンニュースのご了解をいただき一部転載します。

緑園総合高 電卓競技で全国へ

予選が6月1日に藤沢翔陵高校で行われ、横浜緑園総合高校が団体戦で準優勝した。

同校は8月3日に東京で行われる全国大会に、昨年に引き続き県代表として出場する。

メンバーは井上弘太郎君(3年)、田村涼太君(2年)、橋田翔吾君(2年)の3人。指導担当の林嘉憲教諭が「ビジネス基礎」という科目を受講する生徒に声を掛け、集まった。

井上君は読上算2等とビジネス計算3等で個人3等、橋田君は読上算2等で個人3等、田村君は個人佳良(入賞)となり、団体準優勝を勝ち取った。出場校の多くが電卓科目などを学ぶ商業高校の中、同校のような総合高校の大会出場はごく少ないという。

2年連続で全国の舞台に挑戦する井上君は「去年は緊張してしまったので、落ち着いて臨みたい」と意気込む。田村君は「県大会ではいい成績を残せなかったので、本番までに練習を積む」と話す。

橋田君は同校代表として活躍した二人の兄、一輝さんと裕哉さんの姿を間近で見えてきたといい「自分にも向いているのでは」と挑戦を決めた。昨年、裕哉さんが読上算で全国2位に輝いたことに触れ、「大会では手が震え

たが、全国では兄の得点を越えられるようにしたい」と抱負を話す。指導する林教諭は「速さと正確さがポイント・他校と比べてハンデはあるが、まずは予選突破を目指す」と話した。



健闘を誓う3人(写真左から橋田君、井上君、田村君)